番号-所属	番号-通番	事 業 名	担当課名
2240020	1	市立新大学設立準備	総務管理課（新大学設置準備室）
2240020	2	岐阜地域創発人材育成プログラム（SPARC事業）	総務管理課
2240020	3	「NOBI」プロジェクト	総務管理課

事業評価シート(令和7年度事業)

番号	2240020 _ 001

【1.基本情報】

事業名	市立新大学設立準備							
担当部名	女子短期大学				担当課名	総務管理課(新大学設置準備室)		
実施方法	その他		補助等の種類			実施主体	岐阜市立女子短期大学	
開始・終了年度	令和	7 年度 ～		年度		根拠法令・関連計画	岐阜市立新大学基本計画	

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		令和8年2月に策定した岐阜市立新大学基本計画に基づき、新大学設立の準備を進める。
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		既存施設の改修による整備に向けた基礎調査、類似学部を構成している大学への調査を実施する。
事業の対象	何を	新大学設立に向けた準備
	誰に	学生
	どのくらい	新大学の設立
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		変更なし

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	15,456	480	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	15,456	480	0	0	0	0

(2)事業費

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(B)	－	－	9,900
決算額(C)	－	－	9,409
差額(B-C)	－	－	491
執行率(C/B)	－	－	95%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
	－	－	9,409

【4.収入】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(E)	－	－	0
決算額(F)	－	－	0
差額(E-F)	－	－	0
執行率(F/E)	－	－	－

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D－F)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
	－	－	9,409

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	基本計画に沿った準備		単位	回
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	－	－	1	
実績値	－	－	1	
達成率	－	－	100.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	新大学の設置			
指標	新大学の設置		単位	回
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値（以上）	－	－	1	
実績値	－	－	1	
達成率	－	－	100.0%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準		根拠となるデータ等・評価の説明 （評価基準に適合することを示す具体的な数値等）
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5	ニーズが高く必要性が高い（データを明記）	学生の学びの深化、4大化志向を満たすため、必要である。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	多面的に公立の大学が果たす役割は大きい
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	5	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している（金額を明記）	専門業者に委託することにより、大学設置に係る専門知識が不足する中で、専門業者に委託しなかった場合に必要となったであろう人員（人件費換算：約1,500千円（240人日×2人×32.9千円））を他の業務に充てることで、効率化を図った。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる（データの分析内容を明記）	業務委託の内容である ・大学新設の課題抽出 ・教員採用基準、教員体制、評価基準等策定業務 ・就任予定教員の予備判定業務 ・施設計画・設備計画等の検討・助言（概算費・施設設備レイアウト図面作成業務） はいずれも事業の成果であるアウトカムに100%直結する業務であり、いずれが欠けてもアウトカムにつながらない程度の因果関係を有する。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	15／15	達成率20%ごとに1点(100%まで) （実績のないものは直近の達成率により計算）		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	少子化への対応、高学歴志向への対応につながるものである。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	10	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	市の基本計画に沿って進めている。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている（計画名を明記）	
			3	事業の一部が市の計画に関係している（計画名を明記）	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】　（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		方向性基準 （基準点を満たすものから選択）
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
総合評価		－	－／50	－	50／50	拡充	・40点以上：拡充 ・25点以上：継続 ・15点以上：改善 ・0点以上：縮小・廃止
評価理由	岐阜市の基本計画に沿って着々と進められている。						

事業評価シート(令和7年度事業)

番号	2240020 _ 002

【1.基本情報】

事業名	岐阜地域創発人材育成プログラム(SPARC事業)							
担当部名	女子短期大学				担当課名	総務管理課		
実施方法	その他		補助等の種類			実施主体	岐阜市立女子短期大学	
開始・終了年度	令和	4 年度 ～		年度	根拠法令・関連計画	文科省　人材育成連携拠点形成費補助金交付要綱		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		SPARC事業構成大学と連携し、地域社会の課題解決につながる活躍や共生ができる人材の育成に取り組む。 →岐女短を魅力度UPする。
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・大学等連携推進法人(連携法人)※を設立、地域連携プラットフォーム(PF)と連携し、目的に資する教育プログラム(連携開設科目)を開発する。 ・活用の場として県内3か所に地域ラボを開設し、共同利用する。 ・岐女短は、全学で実施するデータサイエンス(DS)と地域課題解決プログラム(岐阜学)の充実に向け、大学間で連携する。
事業の対象	何を	地域に必要とされる人材の育成
	誰に	学生、教員、地域
	どのくらい	地域社会で役に立てる能力を身につけるまで
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		変更なし

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,518	296	11,137	339	11,909	360
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,518	296	11,137	339	11,909	360

(2)事業費

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(B)	626	626	626
決算額(C)	429	623	380
差額(B-C)	197	3	246
執行率(C/B)	69%	100%	61%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
	9,947	11,760	12,289

【4.収入】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(E)	9,664	9,868	9,868
決算額(F)	9,664	9,868	9,908
差額(E-F)	0	0	-40
執行率(F/E)	100%	100%	100%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D－F)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
	283	1,892	2,381

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	連携開設科目開講数		単位	科目
	令和5年度	令和6年度		令和7年度
目標値	0	1		1
実績値	0	1		1
達成率	－	100.0%		100.0%

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	地域連携事業			
指標	実施地域連携事業		単位	回
	令和5年度	令和6年度		令和7年度
目標値（以上）	25	25		25
実績値	23	22		22
達成率	92.0%	88.0%		88.0%

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準		根拠となるデータ等・評価の説明 （評価基準に適合することを示す具体的な数値等）
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5	ニーズが高く必要性が高い（データを明記）	中部学院大学、岐阜大学との3大学連携事業であり、地域からも地域に必要な人材育成が求められている。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	国立大学、私立大学、公立大学の連携した事業であり、公立大学としての実施することで事業効果が高まる。
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している（金額を明記）	大学連携により単独で行うより人件費、事業費が抑えられているほか、文部科学省からの補助金により、地域連携担当教員、職員の人件費がまかなわれている。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	5	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる（データの分析内容を明記）	岐阜大学の提供科目「アントレプレナーシップ基礎」「データ科学基礎演習」などが受講可能となっており、文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定を受けることができた。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	12／15	達成率20%ごとに1点(100%まで) （実績のないものは直近の達成率により計算）		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	地域の人材育成に資する事業である。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	岐阜市教育大綱 学び方の多様化として、大学連携を行い連携開設科目による他大学の講義を受けられるものである。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている（計画名を明記）	
			3	事業の一部が市の計画に関係している（計画名を明記）	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】　（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		方向性基準 （基準点を満たすものから選択）
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
総合評価		－	33／50	改善	43／50	拡充	・40点以上：拡充 ・25点以上：継続 ・15点以上：改善 ・0点以上：縮小・廃止
評価理由	岐阜大学・中部学院大学と連携開設科目を新たに開設しており、特に岐阜大学の提供科目「データ科学基礎演習」などが受講可能となったことにより、文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定を受けることができた。						

事業評価シート(令和7年度事業)

番号	2240020 _ 003

【1.基本情報】

事業名	「NOBI」プロジェクト								
担当部名	女子短期大学					担当課名	総務管理課		
実施方法	その他			補助等の種類			実施主体	岐阜市立女子短期大学	
開始・終了年度	令和	6	年度～		年度	根拠法令・関連計画	「NOBI」プロジェクト(企画部)		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		岐阜市全体で推進する「NOBI」プロジェクト」において、本学教育分野と一宮市の特徴ある産業分野を連携させることで相互にメリットを求めることを目的とした連携事業。
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		本学学生が、尾州生地の作成から関わりをもち、一宮市ゆかりの尾州生地を使用した衣装を制作し、岐阜市でファッションショー、一宮市において、展示会等を行い、連携及び成果とファッションの重要性を、相互の市民等にアピールする。
事業の対象	何を	尾州生地を使用した衣装の制作、発表
	誰に	本学学生、一宮市事業者、岐阜市民、一宮市民
	どのくらい	尾州生地を使用して衣装を制作できるまで
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		変更なし

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
ﾊﾟｰﾄﾀｲﾑ会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)事業費

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(B)	0	586	558
決算額(C)	0	586	558
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	-	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
	0	586	558

【4.収入】

	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
予算額(E)	0	0	33
決算額(F)	0	0	15
差額(E-F)	0	0	18
執行率(F/E)	-	-	45%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D－F)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)	令和7年度(千円)
	0	586	543

【6.指標評価】

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

指標	ファッションショー、展示		単位	回
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	0	4	4	
実績値	0	4	4	
達成率	－	100.0%	100.0%	

アウトカム評価（活動に基づく成果）

成果	志願者数			
指標	選抜試験志願者数		単位	人
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値（以上）	500	500	500	
実績値	272	239	216	
達成率	54.4%	47.8%	43.2%	

【7.観点評価】

観点	評価項目	評価点数	評価基準		根拠となるデータ等・評価の説明 （評価基準に適合することを示す具体的な数値等）
必要性	事業により発生する効果が必要とされているか	5	5	ニーズが高く必要性が高い（データを明記）	学生の実践的な学びの場として必要である。
			3	ある程度のニーズがあり必要性がある	
			1	必要性はあまり高くない	
	国、県、民間や地域との役割分担から、市が実施する必要があるか	5	5	制度の主旨等から市以外が実施できない	一宮市の特徴ある産業分野との連携事業であり、必要である。
			3	市が実施することにより事業効果が高くなる	
			1	市が実施する必要性はあまり高くない	
効率性	効率化されているか ・契約方法や仕様、事務手続、業務フローの見直し、DX、人件費削減など ※効率化の具体的な内容を評価の説明欄に記入	3	5	効率化により事業費や人件費が抑えられるなど生産性が向上している（金額を明記）	企業との連携により、明確な役割分担のもと、本学が担うべき部分のみを効率的に行えている。
			3	効率化によりミスが防止される、作業負荷が軽減されるなど生産性が向上している	
			1	効率化されていない	
有効性	事業の実施結果であるアウトプットは事業の成果であるアウトカムにつながっているか	3	5	データの比較などにより、因果関係を示すことができる（データの分析内容を明記）	すぐにはアウトカムにつながっていないが、継続的な取り組みにより将来的なアウトカムにつながるものである。
			3	相関関係を示すデータがある	
			1	つながっていない又は不明確	
	アウトカム目標達成度	6／15	達成率20%ごとに1点(100%まで) （実績のないものは直近の達成率により計算）		
先見性	将来の課題を見据えた事業であるか ・人口減少・高齢化・気候変動・産業構造の変化など	5	5	将来の課題解決に直接的に結びつく事業である	少子化を見据えた、学生確保の事業である。
			3	将来の課題解決に間接的に結びつく事業である	
			1	将来の課題解決に対する効果はあまりない	
重要性	市の目指すべき方向性と合致しているか	8	10	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる中核的な事業である	企画部主導の一宮市との「NOBI」プロジェクトである。
			8	未来のまちづくり構想で定めるまちづくりの方向性に関わる事業である	
			5	事業が市の各種計画に定められている（計画名を明記）	
			3	事業の一部が市の計画に関係している（計画名を明記）	
			1	事業が市の計画に直接的に関係していない	

【8.総合評価】　（定量評価及び定性評価を踏まえた評価）

総合評価	令和5年度		令和6年度		令和7年度		方向性基準 （基準点を満たすものから選択）
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持	25／50	改善	35／50	継続	・40点以上：拡充 ・25点以上：継続 ・15点以上：改善 ・0点以上：縮小・廃止
評価理由	岐阜市全体で推進する「NOBIプロジェクト」において、本学教育分野と一宮市の特徴ある産業分野との連携であり、学生の実践的学びの強化につながるものである。						